

成果指標設定調査

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 29 年度

市町村名	川口市			
提案事業名	荒川運動公園活性化事業			
事業期間	平成28年度 ～ 平成29年度			
事業の必要性、目的	子どもたちが荒川の自然と親しむ「水辺の楽校」の拠点となる親水護岸付近に便益施設を設け、利便性を高めるものである。また、かねてから市の懸案事項であったバーベキュー場とドッグランを荒川運動公園内に整備することで、荒川運動公園全体の活性化を図り、賑わいを創出し、魅力のある公園にすることを目的とする。			
成 果 指 標	(成果を検証する指標) ①公園利用者数 ②公園利用者の満足度			
	(成果検証の具体的な方法) ①現在の公園（野球場2面とラグビー場）の利用者数と事業実施後の公園（野球場1面とラグビー場、ドッグラン、バーベキュー場、水辺の楽校）の利用者数の比較 ②公園利用者の満足度に関するアンケート調査の実施			
	(上記の指標を設定した理由) ①の利用者数については「賑わい」および「活性化」を検証するもので、②の満足度は「魅力」及び「利便性」を検証するものです。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (H27年3月現在)	①10,690人 ②ー	目標値 (H30年3月時点)	①72,589人 ②満足度90%
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法 及び特記事項		市広報紙、ホームページで周知を行う。		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 水辺の楽校活用施設整備	ハード ソフト 「水辺の楽校」の拠点となる親水護岸を、平成26年度に国土交通省が荒川運動公園内に整備したことに伴い、水辺の楽校としての利便性を高めるための便益施設を設置するもの。	27,410
② ドッグラン整備	ハード ソフト 荒川運動公園の野球場2面のうち1面を廃止し、駐車場とドッグランを整備し、犬のしつけ教室やドッグミーティング、ドッグレスキューの集いなどを開催し、荒川運動公園の更なる活性化を図るもの。	21,800
③ バーベキュー場整備	ハード 荒川河川敷にある荒川運動公園にバーベキュー場を整備し、荒川運動公園の更なる活性化を図るもの。	590
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		49,800

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	ハード整備とソフト事業を組み合わせ、水辺の楽校を中心とした水辺の賑わいを創出することにより、環境への関心を高め、新たな市民の憩いの場を形成する。
成果指標の達成見込み	水辺の楽校は指定管理者により企画・運営されており好評であるため、新たなスペースが増えることにより、賑わいが期待できる。また、ドッグランとバーベキュー場は平成27年度に社会実験を行い好評であったため、利用者数の増大を望める。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。